

# 川越町の子どもの学力向上に向けて

～全国学力・学習状況調査の結果報告～ その2

## 家庭・地域へのお願い

### (1) 家庭学習の習慣を定着させる・・・見守る、声をかける

子どものノートや学習したプリント等にてできるだけ目を通し、「見守り・声かけ」をしていただくようお願いします。家庭学習を継続させるためには、声をかける、頑張りの過程をほめる、励ますことで、子どものやる気を引き出すことも保護者の役割です。

#### 【家庭学習を習慣化するポイント】

《児童・生徒》・毎日、決まった時間に決まった場所で勉強する。

- ・テレビ・スマートフォン等の電源を切って、集中して勉強する。
- ・机の上をかたづけて、良い姿勢で勉強する。

《保護者》・カレンダーに「○」を付けるなど、学習の記録を記すようにし、子どもたちの頑張りを「見える化」し、ほめる。

### (2) テレビ、ゲーム、スマートフォン等との上手なつきあい方を教える・・・ルール作り

テレビやゲームを楽しむ時間や、スマートフォンを使用する時間、方法などについて、家庭でのルールづくりをしていただきますようお願いします。家族同士の触れ合いはコミュニケーション能力の向上にもつながります。

例) 毎週水曜日は「ノーテレビ・ノーゲームデー」にする。

夜の10時以降は、携帯電話やスマートフォンを使わない。 など

### (3) 難しいことにも挑戦する心を育てる・・・ほめて伸ばす

今回の児童生徒質問紙の結果からも、「約20%の児童、約30%の生徒が、家の人と学校の出来事について話をしていない」という状況がみられました。また、全国的に、自分自身になかなか自信が持てず、自分で考えたり、自分で決めたりしにくい子どもが増えています。「家族で決めた約束が守れた」「頼んだ仕事ができた」など、子どもが何かを継続して行ったときや、以前よりも進歩や成長が見えたときには、その機会を見逃さず、きちんとほめましょう。成功や失敗、順位や点数等だけに注目するのではなく、過程も含めて、子どもの意思で行動したことを評価することが大切です。

#### 【子どものほめ方のポイント】

- 他の子（友だちやきょうだい）と比べてほめない
- よかったことを具体的にほめる
- 結果（順位や点数等）に注目せず、努力したことをほめる
- その場ですぐほめる

「ほめて伸ばす」ことは、「叱ってはいけない」ことではありません。人のことを考えず、我慢のきかない子どもにならないように、悪い事は悪いと教え、目指すべき良き行動がとれるように子どもを導いていきましょう。

### (4) 親子で読み聞かせや読書をする機会を大切にする・・・家庭読書習慣

「語彙（ごい）の量と質」の違いが学力差に大きく影響しているとの指摘があります。まずは、おうちの方からの読み聞かせや、テレビの時間を読書の時間に変えることから始めましょう。はじめは受動的な読書かもしれません。しかし、その時間を継続的にもつことで、やがて子ども自らが本と向き合うことのできる能動的な読書へつながっていくと考えます。ぜひ、子どもたちの「本を読んでほしい」「本を読みたい」という気持ちを大切にしていきましょう。

みえの学力向上県民運動

学校・家庭・地域の教育力を高めよう！

みえの学力向上

検索

